

今週の

2026年8月23日



樹液に集まる生きものを呼びよせるため、夏限定で月2回の開放日の前日に木にバナナなどの果物を袋に入れたトラップをぶら下げています。

※7～8月は熱中症予防のため「いきもの広場で遊ぼう」は時間を短くし、10:45～11:15(30分間)に開催します。



① オオカマキリ

春にふ化したオオカマキリの多くが最後の脱皮を終え、おとなの姿になりました。花粉や蜜を求めて昆虫が集まるオミナエシでは、よくカマキリが獲物を待ちぶせしています。

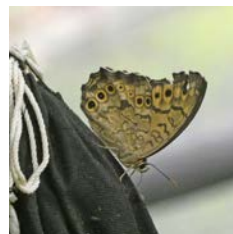
🔍 どんな色をしているかな？

草木にまぎれて獲物に近づきやすいからでしょうか、全身緑色のタイプ、はねの縁以外が茶色のタイプ、緑色と茶色が混ざったようなタイプがいます。



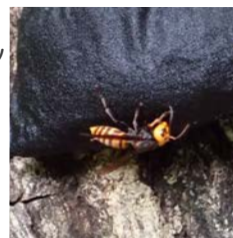
② サトキマダラヒカゲ

名前のとおり、日陰など薄暗いところを好むチョウのなかまで、樹液を吸います。果物を入れたトラップに来ていました。



🔍 危険な生きものに注意!!

スズメバチのなかまも樹液を好むため、果物を入れたトラップに来ていました。刺激すると餌場を守ろうとしておそってくることもあるので、近よらないようにしましょう。



③ 産卵するチョウのなかま

キタキチョウはハギやサイカチ(マメ科植物)の若葉、アカボシゴマダラはエノキの葉に卵を産んでいました。



🔍 卵を見てみよう!

チョウの種類によって卵の形も色も模様も様々です。



「いきもの広場」は、小さな生きものがくらせる環境を整えた広場です。生きものを探る楽しさや、身近な生きもののすばらしさを感じることができます。

「いきもの広場で遊ぼう」

毎月第2・4日曜日10:45～11:45

*時間外はお入りいただけません。

